

システム監査入門 ～AI、DX 時代に対応するために～

対象

■内部監査担当者、システム監査担当者（システム監査を上手に実施したい方） ■IT 部門の管理者・担当者（上手にシステム監査を受けたい方） ■IT ベンダーの方（上手に委託元企業等の監査に対応したい方）

開催趣旨

AI、DX 時代を迎えて、経営者は、AI や DX が適切に推進されているかどうか、不安に思っているのではないか。経営者が意図したとおりに AI 導入や DX が進展しているかどうかを検証・評価する役割がシステム監査です。システム監査は、経営目標の達成に IT を活用していく仕組み（IT ガバナンス）が構築され運用されているかどうかを検証・評価し、必要な改善提案を行うことを目的としています。しかし、どのようにシステム監査を実施すればよいのか悩んでいる方々が多いのが実態ではないでしょうか。

本講座は、こうした方々の悩みを解決できるように、簡単な質問やケーススタディを織り込みながら、システム監査の概要やそのポイント・進め方を解説いたします。

本セミナーのゴール

- ① システム監査の目的と全体像を理解し、AI・DX 時代における自社の IT ガバナンス評価の基礎を身につける。
- ② 開発・運用・外部委託・セキュリティなどの典型的 IT リスクをケースで学び、重要ポイントを見抜く力を養う。
- ③ 監査基準の使い方から報告のまとめ方まで、実務で再現できるシステム監査の進め方を習得する。

日時

<LIVE 配信> 2026 年 3 月 10 日(火)10:00~17:00
<見逃し配信> 2026 年 3 月 17 日(火)~3 月 24 日(火)
※見逃し配信のみのご受講でもお申込みいただけます

講師

東洋大学工業技術研究所客員研究員
(元) 東洋大学総合情報学部教授
公認情報システム監査人/公認内部監査人
(元) 東京ガス㈱ 監査部業務監査グループマネージャー

しまだ ゆうじ
島田 裕次 氏

参加料 (負担金)

NOMA会員 35,200 円(税込)/名
一般 42,900 円(税込)/名

申込方法

■株式会社ファシオが運営するサイト Deliveru からご受講いただきます。

お申込みは、Deliveru、本会 HP のどちらからでも可能です

■Deliveru から申込

- ① Deliveru [https://shop.deliveru.jp/] でセミナーを検索し
- ② セミナー詳細ページにある「注文する」からご購入ください
(お支払方法:クレジットカード払い、pay-easy、コンビニ振込)
- ③ 購入後、確認メールが届きます

■本会 HP から申込

- ① 本会 HP [https://www.noma.or.jp/] でセミナーを検索し
- ② 「WEB 申込」からお申込みください
- ③ 申し込み後、確認メールが届きます。後日、請求書と参加券が郵送で届きます(お支払方法:請求書による銀行振込)

受講方法

- ・登録メールアドレスに、受講 URL/ID 等詳細のご案内が届きます(Live 配信日の概ね 3 営業日前)
- ・カメラ、マイクのご準備は不要です
- ・テキストのダウンロードは、LIVE 配信日の 3~1 営業日前にサイト内でできるようになります
- ・セミナーの録音・録画や資料の複製、お申込みいただいている方の閲覧等は固くお断りいたします
- ・受講証明書はサイト内でダウンロードしていただけます

キャンセル ポリシー等

- ・開催日の 5 営業日前～当日のキャンセル・ご欠席は参加料の 100% をキャンセル料として申し受けます。
- ・天災その他の不可抗力等により講師が登壇できない場合、講師の変更または延期させていただくことがあります。

主催・担当

一般社団法人 日本経営協会 本部事務局 企画研修 G
(東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11 住友不動産新宿南口ビル 13 階)

tms@noma.or.jp

申込問合せ

株式会社ファシオ ☎ 03-6304-0550(平日 10 時～17 時) ✉ bcs-info@vita-facio.jp

見逃し配信 & 4画面配信



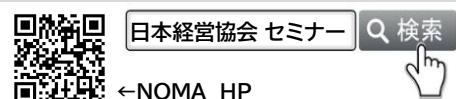
いつでもどこでも何度でも受講できる
見逃し配信付きです！

①見逃し配信では

- ・見逃し配信期間でも、講師へ質問が可能です
- ・繰り返しご受講でき、講義の復習もできます
- ・チャプター形式でお好きな場所から見返せます
- ・倍速機能で効率よく学習できます

②資料はデータ提供です

- ③ご自身で拡大したい画面を選択できます。
マルチデバイスにも対応しております



プログラム

1. システム監査とは

- ・システム監査の目的
- ・内部統制(IT統制)の有効性評価や
情報セキュリティ監査との相違点

2. システム監査の現状

- ・システム監査の実施状況
- ・システム監査のテーマ

3. システム監査に関する基準の概要と使い方

- ・システム監査基準／システム管理基準
- ・COBIT、情報セキュリティ監査基準、
情報セキュリティ管理基準

4. システム監査の体制と手順

- ・システム監査の体制
- ・システム監査手順の概要と特徴

※最新の動向・情報を盛り込むため、
内容を一部変更させていただく場合がございます。

※講師著書:「システム監査の実務解説
(第4版／同文館出版)」を進呈します。
また当日教材としても使用します。

5. ケースで学ぶ IT リスクとシステム監査のポイント

- (1) システム開発における IT リスクと監査ポイント
 - ・システム開発の失敗
 - ・契約にかかるトラブル
 - ・要件定義の失敗
- (2) システム運用・保守における IT リスクと監査ポイント
 - ・操作、運用ミス
 - ・変更管理にかかるトラブル
 - ・障害管理にかかるトラブル
 - ・外部委託先管理にかかるトラブル
(情報漏洩を含む)
- (3) IT 利用における IT リスクと監査ポイント
 - ・不正アクセス (ハッキング・ホームページ改ざんほか)
 - ・SNS、メールの利用にかかるトラブル
 - ・端末、外部記憶媒体持ち出しの監視
- (4) 大規模災害と監査ポイント
 - ・外部サーバ、データセンターの活用
 - ・BCP (業務継続計画) の策定と訓練
- (5) 外部委託先の撤退・倒産
 - ・委託先の選定
 - ・委託契約
 - ・「危ない兆候」

6. ケーススタディ

システム開発プロジェクトの監査

7. まとめ

- ～付加価値の高いシステム監査～
- ・経営に役立つ監査報告
- ・システム監査人の価値向上サイクル

講師紹介

東洋大学工業技術研究所客員研究員 (元)東洋大学総合情報学部教授

公認情報システム監査人/公認内部監査人

(元)東京ガス(株) 監査部業務監査グループマネージャー

しまだ ゆうじ
島田 裕次 氏

【講師略歴】

1979 年早稲田大学政治経済学部卒業、同年東京ガス(株)入社、IT 部門、監査部、経理部などで勤務し、2009 年～2022 年東洋大学総合情報学部教授、2022 年～現職。1999 年より日本大学商学部非常勤講師(科目:コンピュータ会計論)。博士(工学)、公認内部監査人(CIA)、情報処理技術者試験委員、システム監査技術者(経済産業省)、公認情報システム監査人(CISA)、公認情報セキュリティマネージャー(CISM)。

【主な著作】

- 『不正・不祥事のメカニズムと未然防止-不正のトライアングル・内部統制・3線モデルから見た対策とチェックリスト-』(日科技連出版社)、
- 『はじめての内部監査』(日科技連出版社)、
- 『内部監査の実践ガイド』(日科技連出版社)、
- 『DX時代の内部監査手法 -アジャイル型監査・リモート監査・CAATs-』(同文館出版)、
- 『システム監査の実務解説(第3版)』(同文館出版)、
- 『情報セキュリティの基本』(日本実業出版社)

メールマガジンのご登録



新規講座や申込を開始したセミナーを
定期的にご案内しております。ご興味のある
方はぜひご登録をお願いいたします。

登録はこちら⇒



メールマガジン
登録用 QR

※年間の講座スケジュールを本会 HP で
公開しております。

TOPICS 事業のトピックス

本会 HP 画面です

民間向けセミナー:

令和 6 年度(2024 年度)「年間開催計画」

本部事務局(東京) / 関西本部 / 中部本部 / 九州本部 / 北